

Stand UP! NO.48

2017年6月12日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

モチベーションUP=〇手当満額 ×手当抑制 『普通』の感覚なら分かるでしょ!?

本社要請行動

本部青年部は6月12日、関東・東京の青年部員と共に、16名で本社に対し、『夏季手当満額回答を求める本社要請行動』を行いました。冒頭、佐久間青年部長が要請文を読み上げ、その後、全国の青年部員の思いが詰まった統一要請紙を直接本社に手渡してきました。



青年部としては①昨年度の経常利益88億円や鉄道事業部門の黒字は、常態化する要員不足、諸手当・福利厚生廃止の中でも奮闘した青年部員の努力の成果である。②第4回交渉で示した「昨年実績並み」という会社の考えは、私たちの苦労を蔑ろにするものであり大変遺憾である。③18年連続ベアゼロの中、物価上昇、税金や保険料の上昇で生活が苦しく若年退職も後を絶たない。これからJR貨物を担っていく青年部員の為にも夏季手当満額回答を強く要請する。と職場の青年部員の思いをぶつけてきました。

「夏のボーナスは期待してください」は嘘だったのか!?

これまで会社は再三にわたり「鉄道事業部門の黒字が達成するまで我慢して下さい」と言ってきましたが、実現したら今度は「コストが増え、目標達成に向けて厳しい状況が続く」という理由で、またもや手当を抑制する姿勢を示してきました。この間、目標値に足りない21億円については、人件費を当てにしないことを確認してきています。会社はまたもや私たちに経営の責任を転嫁するのか!このような会社姿勢では、私たちの生活は報われない!このふざけた会社姿勢を質すために、青年部員が結集し職場から怒りの声をぶつけよう!

我々は鉄事の黒字に向け覚悟を決めて努力し結果を出した!
今度は経営陣が覚悟を決め責任を持って満額回答しろ!